

## 2021 年度実施概要

学校名

羅臼町立羅臼幼稚園

採択活動名

「地域の海を守るために私たちができること」  
 ～地域の様々な活動を知り、自然とのつながりを深める～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海に親しむ遊び（さんぼ、かせんじきであそぼう、クリーンさくせん）		知床学
2. 小学校との連携		知床学

取り組みの概要

本園は、知床の美しい自然と豊かな海の恵みの中で教育活動を展開している。昨年度は、地域の産業等に関わる内容を設定し、遊びを通して、幼児が地域の産業の魅力を感じるとともに、地域への愛着を育むことができた。こうしたことから、今年度は、幼児が身近な環境に親しみながら地域の自然とのつながりを深めることをねらいとし、幼児が多様な体験をすることができ、体験の一つ一つが相互に結び付くように計画した。

5月には、身近なものに興味・関心をもつことをねらいとして、羅臼の町を探検する体験を行った。体験では、幼児が気付きや発見を伸び伸びと表現できるよう、幼児一人一人の言葉に耳を傾けるようにした。幼児は、発見したことを喜んで教師に伝えたり、友達に伝え合ったりしていた。

7月には、季節の変化などを感じ取り、自然と触れ合うことをねらいとして、河川敷で遊ぶ体験を複数回行った。幼児は、季節の変化を感じ取りながら、身近にあるものを使い、遊びを通して羅臼町の自然に関心を高めるとともに、羅臼町に生息している動物について知ることができた。

8月には、地域の自然とのつながりをもつことねらいとして、羅臼の町を探検の範囲を広げて、漁港を探検した。幼児は、水揚げされた魚の名前を知ったり、食べたことのある魚を見付けたりしながら、羅臼には 300 種類の魚が住んでいることや流氷からの恵みがあることなど、地域の自然とのつながりに気付いていた。

9月には、これまでの「さんぼ」や「かせんじきであそぼう」などの体験を通して、幼児は、浜のごみが多いことに気付き、「きれいにしたい」という思いをもっていたことから、浜のごみを拾う「クリーンさくせん」を行った。

幼児は、「クリーンさくせん」を通して、地域の環境を大切にすることが海を守ることにもつながることに気付いていた。また、自分が住んでいる町への愛着を深めていた。

11月には、羅臼小学校の第1学年児童と「らうすをしろう」というテーマで交流した。幼児は、これまでの体験を結び付けながら、羅臼小学校第1学年児童による羅臼町についての発表を聞き、「じぶんたちがなにかできることはないか」など、羅臼町への愛着を深めていた。

このように、幼児の多様な体験の一つ一つが相互に結び付くように取り組んだことにより、幼児が身近な環境に親しみながら地域の自然とのつながりを深めることができた。



【季節の変化を感じ取る幼児の様子】



【クリーンさくせんを行う幼児の様子】